

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.jmmpa.jp/

第4回理事会を開催 平成24年度事業計画決定

「医療経営士」の資質維持・向上の観点から、 会員制度・受験方式を改定



日本医療経営実践協会では3月20日に第4回理事会を開催し、平成24年度事業計画および会員制度・受験方式改定についての議論が行われた。



行天良雄 理事 医事評論家/元NHK解説委員 [職歴・経歴] 長くNHKの解説委員として幅広く活躍。問題をとらえる視点と切り口、提言には定評がある。厚生省医療審議会専門委員をはじめ、各自治体の委員を務めるなど代表的医療ジャーナリストの一人。

第4回理事会では、平成23年度に行われた「医療経営士2、3級」資格認定試験の実施報告や、平成24年度資格認定試験実施日の確認、「認定登録医療経営士」(正会員)の拡大推進について、「認定登録医療経営士」の養成および職務能力向上のための研究会やセミナーの開催、地域支部体制の構築・支援などの平成24年度事業計画について議論が行われた。

「改定事項1 会員制度」について 一昨年9月に「医療経営士3級」資格認定試験合格者第一期生が誕生してから合格者の累計が1,200名を超えたことを受け、合格者のうち未入会者については、資質の維持および実践能力の向上の観点から「認定登録医療経営士(正会員)」として、本協会への入会を推奨していくため、「会員制度」を改定することを決定した。

図1 入会金・年会費の改定

改定前(2012年3月31日まで)

Table showing membership fees before the revision. It includes columns for grade (3級, 2級), entry fee (入会金), and annual fees (年会費) for 1st, 2nd, 3rd, and 4th years.

改定後(2012年4月1日施行)

Table showing membership fees after the revision. It includes columns for grade (2級, 3級), registration fee (登録料), and annual fees (年会費) for 1st, 2nd, 3rd, and 4th years.

*平成24年3月31日現在、「個人正会員」は入会金の一部(20,000円)が年会費(2年目以降)として充当されます。 *平成24年4月1日以降に入会の方は、「登録料」10,000円、「年会費」10,000円となります。

「受験」方式については、10月21日実施試験より施行される。詳しくは当協会ホームページを参照されたい。 「認定登録医療経営士(正会員)」の資質維持・現場で役立つ経営実践力の向上の場として、5支部(関東・東海・関西・北陸・九州)が理事に選任された。

平成24年度 6月17日(日)実施「医療経営士」資格認定試験エントリー

Table with exam details: 第3回「医療経営士」2級資格認定試験 and 第6回「医療経営士」3級資格認定試験. Includes exam start times, fees, and venues.

5月2日(水)まで

エントリーはインターネットが便利です。 URL http://www.jmmpa.jp/application.html *インターネットを使用できない場合はTEL03-5296-1933までご連絡ください。 主催:一般社団法人日本医療経営実践協会

6月17日(日)第3回「医療経営士2級」資格認定試験直前

「認定登録医療経営士2級」講師インタビュー!!

「医療経営士2級」合格者が、自らの経験をもとに合格を強力サポート!

6月17日実施、第3回「医療経営士2級」資格認定試験に向けて、日本医療企画が5月に開催する受験対策講座の講師を担当する2名に、受験体験談・講義で心がけたい点などをうかがった。

質問の内容

①医療界における「医療経営士」の役割をどのように捉えているか、②「医療経営士2級」取得を目指したきっかけ、③試験に向けた学習方法、④5月に開催する受験対策講座で講師を担当するにあたり、心がけたい点



東京会場
長 英一郎氏
東日本税理士法人副所長
公認会計士/税理士

①「医療経営士3級」資格認定試験で問われる知識は、職種に限らず医療経営の基礎であり、その習得は必須です。総務や経理、医事といった専門分野に偏りがちな病院の事務系

職員においても、医療制度や診療報酬改定等に対応するために広い知識が求められます。医療関連企業従事者においても、業界独特の用語の意味を理解することで病院との会話が円滑になります。

医療経営士2級では、経営企画室や経営幹部に必要な知識の習得を目指します。会計や資金調達など経営会議で議案に上がる内容を学ぶことにより、事務系職員の経営参画が期待されています。

②医療経営をアドバイスする立場として医療経営士2級の知識を有しているのは当然であり、クライアント病院に当資格の取得を勧めるために、その難易度や取り組み方を身に付けるために自ら受験しました。経営学、財務会計論、管理会計論など公認会計士の試験科目と共通する内容が多

く、自らの基礎知識がテキストの理解に役立ちました。

③診療報酬や介護報酬が試験内容に多く含まれていることから、報酬改定によりどのような医療収益に影響を与えているかどうか、それに伴う人件費などのコストはどれくらいかかるかという点を意識しながら勉強しました。試験2週間前ぐらいからテキストの中で理解が浅い部分についてノートに箇条書きでまとめ、直前にノートを読み返しました。

④テキストの量が医療経営士3級よりも膨大になっているので、できるだけポイントを絞って分かりやすい講義を心がけます。頻出分野である診療報酬・介護報酬については24年改定をふまえて点数(単位)そのものよりも、変わった背景や今後の方向性に重点を置いて解説します。経営学一般については、抽象的な説明にとどまらず、病院の事例をできるだけふまえて、正否が判断しやすい会計、資金調達については専門用語をあまり使わずに解説します。試験対策としては今まで出題された論点についてポイントを押さえるながら、ミニテストなどをおこない楽しく一緒に学習します。



福岡会場
中村 康寛氏
保健医療経営大学学部長
保健医療経営大学学部長

①医療経営に関して、全体が見渡せ、かつ種々のデータを収集し、それを有効に活用できる人材が必要であると考えます。その役割を担うのが、まさに

医療経営士です。人、モノ、カネ、情報に関して幅広い知識をもち、その知識を最大限生かし、医療現場で実践できる人材として期待しています。

②保健医療経営大学で医療に関して教えていますが、担当しているゼミ生と実社会に出てから役に立つ医療経営に関する知識を身につけてほしいと思います。医療経営士2級の充実したテキストの存在を知りました。そこでまず3級試験をゼミ生と共に受験し、さらに医療経営全体を見渡せるような知識を得るために医療経営士2級の資格取得を目指し勉強しようと思いました。

③第1回目の2級試験は不合格でした。その原因としては一般、専門共に問題集のみをやればそれで大丈夫と思っていたことです。2級は広範囲で、しっ

かりした知識を持っていなければならぬと反省し、まずDVDを見て全体のポイントとと思われる部分を把握し、テキストを精読し、問題集を解き、更にまとめとして東京で開催された試験対策講座を受講しました。

④初めての経験なので、一般講座、専門講座共に、漏れのないように全体的なバランスをとった講座としたいです。一般講座では各テキストの概要を記したレジユメのポイントを解説し、また今まで出された問題集を参考にした重要項目を詳しく解説し、また専門講座では、特に今回の診療報酬、介護報酬の同時改定にともなう変更項目は、試験のヤマとなると考えられますので、DPCにおける改正点とともに詳しく解説していきたいと考えています。

第3回「医療経営士2級」資格認定試験 直前ポイント整理講座のご案内

日本医療企画教育事業本部
TEL.03-3256-2863 FAX.03-3256-2809
担当:三浦/鈴木

「認定登録医療経営士2級」講師によるポイントを絞った講義で実務に活き、且つ、合格のための秘訣を伝授!!

講座の3大ポイント

1. 「医療経営士2級」に求められる全体像・重要ポイントを理解でき、試験対策にとどまらず日常業務に役立ちます。
2. 単元ごとに確認テストを実施します。ポイント解説+「講師作成確認テスト」で知識の定着を図ります。
3. 受講生限定!! ①「要点ポイントオリジナルレジユメ」を無料配布(非売品)。②毎週1回予想問題メルマガ配信(全10回)。

難関試験突破に向け2日間集中で、出題範囲の“重要ポイント”を重点的に学習する講座を開催します。

	東京会場	福岡会場
開催日	5月12日(土)【一般講座】/13日(日)【専門講座】	5月19日(土)【一般講座】/20日(日)【専門講座】
講師	長 英一郎氏	中村 康寛氏
場所	エッサム神田ホール(東京都千代田区神田)	深見ビル会議室(福岡県福岡市博多区)
受講料(2日間)	一般 50,000円/正会員 35,000円	一般 35,000円/正会員 30,000円

※内容、会場は都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

注目!!の書籍、著者に聞く 第1回 『デキる看護師の思考法』著者 田中 智恵子氏

デキる看護師が、病院を救う！ 今こそ、看護師の積極的な 経営参画を！ その①

看護師が「医療経営士」資格取得を目指す動きが増えてきている。そこで今回から2回にわたり、『デキる看護師の思考法』（日本医療企画発行）の執筆者である株式会社メディカルクリエイトの田中智恵子氏に、看護師の経営参画の必要性について、また、事務職員が医療機関の専門職最大集団である看護師と協働していくためのポイントなどについて解説していただいた。



田中 智恵子氏
株式会社メディカルクリエイト 教育研修事業部
大阪市立大学商学部経営学研究所 特任准教授
看護師

田中 智恵子氏
たなか・ちえこ ●看護学校卒業後、看護師として従事。退職後、東京大学医学部健康科学看護学科に編入。コンサルタントとして看護・介護の現場に論理思考を取り入れた業務改善、質の改善に従事。病院、大学などで講演や研修を実施。東京大学大学院医学系研究科修士課程修了。

——看護師の現状と、医療経営における看護師の役割はなんですか
田中 ●全国の病院では、看護師を副院長に登用する動きが活発化しています。医療専門職の中で最大集団である看護師の副院長への登用は、これまでの単なる職能集団のトップではなく、組織の中で経営に寄与することを期待されています。メディカルプリンシパル社の調査によると2008年では246施設で看護師の副院長職が誕生しているそうです。病院数は約9000施設なのでまだまだ割合は低いですが、その数は増加傾向にあり、登用により経営への期待が高まっていると言えそうです。このことは、看護師集団にとってはモチ

ベーションの向上につながるでしょうし、医療チームにとっては医師等多職種との協働の推進、患者にとってはケアの視点からの問題点の改善、病院にとっては病棟や外来のマネジメントの中心人材である看護師のコストや収益に対する認識の高まり等、あらゆる効果が期待されます。これまで看護師からは「私達はお金のために医療を行っているのではない」とか、「経営の勉強はしたくない」という声が多く聞かれていました。しかし、時代は「知らない、解らない」ではなく、看護師にも経営に参画することを求めています。

——看護師の経営知識の必要性（看護師が経営知識を持つこと）や、経営参画の必要性（病院はどう変わる）についてはどう思いますか
田中 ●副院長などの要職に就かないと経営に寄与出来ない訳ではありません。現場のスタッフから「経営のこととは経営陣が考えること」「経営陣ではないから経営には関係ない」などの言葉を耳にすることがありますが、この点が医療従事者の経営に対する認識に誤解があるところではないでしょうか。経営とは儲けること（黒字にする）が目的ではなく、日頃行っている医療・ケアの成果として黒字か赤字の結果が出てくるだけのことです。ですから、それぞれ看護師が日々のケアを行う際、経営を意識した行動を考え行動することが必要なのです。裏を返せば、日々のケアそのものが経営に直結していることに気付くことが重要と言えます。経営では、ヒト、モノ、カネの資源のマネジメントの重要性が言われています。モノのマネジメントは

業務の中で実践していることが多いでしょう。しかし、カネのマネジメントは、カネの専門家である事務部門に任せがちです。そのため、ガーゼや注射器など医療材料は使うが、その単価は知らなかったり、検査や処置は実施しても、その結果いくらの診療報酬を得ているのかわからないなど、カネに対する認識の薄さは大きな問題であると言えるでしょう。

——看護師が経営知識を得るためには、どうすればよいとお考えですか？
田中 ●経営知識を得る手段は増加しています。近年、多くの大学が、社会人向けに経営学修士(MBA)の資格を取得できるコースを開設したり、(医療者はあまり足を運ばないのですが)書店のビジネス書コーナーは経営知識、経営的視点を持った思考法など経営に関する書籍が数多くあります。医療経営士の資格も、もっと看護師が取得するようになると思います。また、看護学の中にも

◆ 医療経営関連書籍のご案内 日本医療企画 TEL.03-3256-2862 FAX.03-3256-2865 http://www.jmp.co.jp

自分で考え行動できる“問題解決型ナース”が病院を救う!

デキる看護師の思考法

問題解決型スキルで看護現場を変革する

デキる看護師に必要なのは、知識ではなく「考え方」、答えではなく「答えを導く方法論」なのです!

[主な内容]

- 第1章 問題解決型思考を理解する —— “デキる看護師”の思考プロセス
- 第2章 問題解決型思考をマスターする —— 思考習慣を変える5つの基本スキル
- 第3章 問題解決型思考を活用する —— 実践スキルを習得して思考力アップ!
- 第4章 ケーススタディ —— 問題解決型思考による看護業務の改善事例
- 第5章 経営を理解する —— ワンランク上の看護師を目指すために

著者 田中 智恵子 (株)メディカルクリエイト教育研修事業部 特任准教授/看護師 + 田中 伸明 元京都産業大学経営学部 教授 医師

●定価：2,940円(税込) ●A5判/2色刷/300ページ

デキる看護師の思考法
問題解決型スキルで看護現場を変革する

問題解決型思考は、チーム医療の成功や 残業削減など課題改善につながる重要なスキル!

デキる看護師に必要なのは... 知識ではなく考え方 答えではなく 答えを導く方法論なのです!

JMP

医療経営士のための

News & Topics

●日本精神科病会

精神科医療の将来ビジョンを公表

日本精神科病院協会は、このほど、「将来ビジョン戦略会議」我々の描く精神科医療の将来ビジョン(案)を公表した。同協会では、昨年度より将来ビジョン戦略会議を設置し、今後の精神科医療福祉について議論を重ねてきた。

将来ビジョンでは、精神科病院の担う役割について、「これまで医療提供以外に担わされてきた福祉的施設の代用や保護的収容などから、真に適正な医療サービスの提供機関へと大きく変化してきていることを基本認識として共有する必要がある」とし、精神科病院と精神医療のあるべき姿についてビジョンを

打ち出している。

このうち精神科救急医療体制については、地域の病院全体で担う病院群輪番体制によることが重要との認識を示したうえで、「精神科救急入院料算定病棟」を救急医療圏における「最後の砦」としてバックアップ機能を担うという位置づけに整理し直すことが必要であるとされた。

また、総合病院の精神科病棟については①「精神科救急・合併症入院料」算定病棟、②救命救急センター(在院日数14日以内)のリエゾンとその後一般病床での継続医療に向けたトリアージの役割、③救急救命センターの後方支援病棟および地域における精神身体合併症患者を専門的に受け入れる合併症専門病棟(入院患者の70%以上)のいずれかの機能を果たすことを法的にも位置づけることが盛り込まれている。

認知症疾患医療と周辺領域については、「認知症は併発するBPSDやせん妄などさまざまな老年期身体疾患が

十分に管理されれば余命は延びる。さらに認知症患者もやがて「看取り」にいたるが、それも含んで認知症病床の医療機能が検討されることが必要」と言及。

今後の病床機能のあり方として、現行の認知症治療病棟をBPSDやせん妄などをターゲットに短期集中的に専門医療を提供できる環境を整備するとともに、多少期間はかかっても回復期の専門医療を提供しつつ、在宅や各種施設での生活を支えるための退院後のケアを家族や施設スタッフなどに学んでもらう

「認知症回復期・療養病床(仮称)」の創設を提言した。

このほか同ビジョンでは、生活施設の整備による精神病床の適正化の促進や入院の短期化などを掲げている。

●全日本病院協会

12年度事業計画など5議題について了承

全日本病院協会は3月24日、ホテルグランドパレスにて定期議員会・総会を開催し

た。2012年度事業計画や予算など5つの議案が発議され、満場一致で承認した。

12年度事業計画については、①社会保障制度、医療制度その他病院に関する諸制度に関する調査研究および提言ならびに政府その他の関係機関関係団体との連絡協議、②病院の管理運営および病院施設の改善向上に関する調査研究および提言、③病院資質の向上に資する医師その他病院関係職員の実務的、理論的および倫理的なレベルの向上に関する教育研究および検定ならびに普及啓発、④その他この法人の目的を達成するために必要な事業——の4つの大項目が設けられている。

このうち①では国民のための医療・介護にかかわる制度の構築と提言などが掲げられており、このなかで12年度診療報酬改定および医療法改正に関する検討、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に関する検討、終末期の対応と理想の看取りに関する実態把握およびガイドライン等のあり

方調査研究に基づく提言などを行うとしている。会場の代議員からは、地域包括ケア体制の内容の検証を求め意見やTPPに対する全日病としてのスタンスを問う声などが挙がり、西澤寛俊会長や

●日本医療経営実践協会 関西支部

毎月医療経営士の方々のスキルアップ、情報交換、交流の場として勉強会を実施

関西支部は、3月18日に特別編として、「2012年度診療報酬・介護報酬W改定政策シナリオの全貌」(日本医療企画発行)の著者で、東日本税理士法人副所長の長英一郎氏を講師に招いて、「W改定セミナー」を新日本有限責任監査法人大阪事務所セミナーム(大阪市北区)で開催した。当日は医療機関事務職員や関連企業従事者など約50名が参加した。

猪口雄二副会長が回答した。

このほか、公益法人移行申請にかかる定款変更についても検討。準会員の設立や社員総会の実施などの変更点が説明され、おおむね了承された。

セミナー参加者からは「今改定に至った背景や目先の点数だけではなく捉われない長期的な展望に立った内容で大変参考になった」などの感想が寄せられた。

セミナーでは、同書籍をテキストとして使用しながら、今年度のW改定の解説はもとより、厚労省や中協資料の読み解き方や25年の「社会保障と税の一



関西支部研究会の様子。当日の参加者は46名

日本医療経営実践協会北陸支部からのご案内

医療経営士 合同合宿研究会

『医療現場の“やりがい”を生み出す問題解決実践事例～外来待ち時間の短縮 結論編～』

第1回研究会「外来待ち時間短縮」結論編です。前回参加病院様の自院レポートを医療経営士が検証し、待ち時間短縮の北陸モデル構築を目指します。「外来待ち時間」という視点からの問題提起・解決能力を学び、地域事情を考慮した中でのモデル構築、また聖路加国際病院様の取り組み事例などの情報収集につなげます。

日時：平成24年5月26日(土) 14:00～5月27日(日) 10:00

場所：はかま館(富山県射水市庄西町)

講師：鐘江康一郎氏 聖路加国際病院 経営企画室

会費：医療経営士：10,000円(税込)／一般：13,000円(税込) (1泊2食付)

定員：30名(先着順、定員になり次第締切)

申込・問合せ：日本医療経営実践協会北陸支部
TEL.076-231-7791 FAX.076-231-7795

日本医療経営実践協会推薦セミナー(無料)のご案内

浜松医科大学シンポジウム

災害に強い病院を目指した自助・共助のあり方
—災害医療コーディネーターとライフラインの重要性—

日時：平成24年5月30日(水) 16:00～18:30

場所：アクトシティ浜松コンgresセンター 43・44会議室
静岡県浜松市中区板屋町111-1 TEL.053-451-1111

基調講演：石巻医療圏における東日本大震災への対応

講師：石井 正氏
石巻赤十字病院 医療社会事業部長・外科部長／宮城県災害医療コーディネーター

シンポジウム：東日本大震災に学ぶライフラインの確保策

参加対象：医療機関の院長・副院長・事務長、災害医療、救急医療に携わる医師・看護師、医療機関・行政機関の危機管理を担当する管理職

申込・問合せ：国立大学法人浜松医科大学地域医療学講座
TEL.053-435-2060 FAX.053-435-2450